NIE実践報告

1．タイトル：新聞に親しみ、「人の生き方」にふれる

2．学校名

京都府京都市立安井小学校

3．実践者名（代表者名）

椙村　敦子

4．学年

第5学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　71人

6．単元（本時の学習課題）名

「人・生き方・ゆめ」

7．目標（狙い）

新聞に載っている働く人の記事から、その人の仕事に対する考え方や大事にしていることを読み取れることを知り、地域の職業体験で見つけてきたこれからの自分に生かせることを記事にして伝えることができる。

8．評価の視点

自分が体験して、見てきたことや聞いてきたこと、感じたことを新聞記事を書くことで確かめられたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「職業体験で見つけた、働く人の大切にしていることを新聞記事にしよう」総合的な学習の時間:8時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

(1)新聞から、働く人の様子やその人の大事にしていることがわかる記事を探す。[1時間]
(2)新聞のスクラップの仕方を知る。[1時間]
(3)職業体験での取材のインタビューの仕方を記者に学ぶ。[1時間]
(4)体験職業で見つけたことを新聞記事にする。[5時間]
(留意点)
・総合的な学習の時間のテーマに沿った、児童の課題解決の方法の一つとして扱う。
・新聞のスクラップで、新聞に触れさせる機会を増やす。
・出来た記事を体験先にお礼として贈ったり、学習のまとめの交流会で掲示したりするなど目的をもたせることで意識を高める。本当の記者の話を聞く機会を作り、関心を高める。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

働く人の様子や気持ちを記事に書く目的を持つことで、自分の目や耳でつかんだことを具体的に書こうとする姿勢が見られた。記者の方のアドバイスをもらって分からないことを教えていただいたことで意欲が高まった。

12．成果と課題

新聞のスクラップも同時並行で行ったので、少しずつ新聞が身近になった。「人」をテーマにした記事が中心であったが、情報を集める一つの方法としての意識が高まった。
しかし、十分に内容が理解できているとは言えず、他教科で、有効的な活用方法を授業で具体的に示すことが必要だと思われる。